

マークについて

- 史跡、社寺など歴史的まちあるきポイント
- 公共施設、公園などのまちあるきポイント
- 樹木などのまちあるきポイント
- マップの裏面にコラムがあります。

● 学校・幼稚園・保育園等 ● 神社

● 寺院 ● 郵便局 ● 交番・警察署

● 消防署 ● コンビニエンスストア

1 車田町の三体の石仏

八事の山には多数の石仏がありましたが、大正のころその山が売られると、石仏は道ばたに放置されていました。この近くに住んでいた文久年間(1862)生まれの前田家のご先祖様に見かねてお大師様とお業師様を大八車で運んできて、自宅の敷地に安置しました。その後現在の場所のお堂に、右側のお不動様とともに安置されたものです。



2 名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)

緑豊かな吹上公園に隣接する名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)。昭和41年に旧吹上ホールが建設されました。現在の外観になったのは、昭和58年で黒川紀章氏が設計した建物です。「吹上ホール」の名称で親しまれている5,000㎡規模の展示場をはじめとして、大規模催事から講演会・パーティー・社内会議に至るまで、幅広いニーズに対応する総合コンベンション施設です。



3 吹上公園

以前は、名古屋刑務所がありましたが、昭和37年に三好町(現みよし市)に移転したのを機に鶴舞公園の分園として昭和44年に開園しました。北半分には、休憩所のある樹林や噴水・子ども向けの遊具などがあり、人々の憩いの場となっています。南半分には、テニスコート・野球場などのスポーツ施設があります。また、噴水(友好の泉)の周りには4つの姉妹友好都市のプレートがあります。刑務所が建てられる前には「茶臼山古墳」「太郎塚古墳」がありましたが、現在は形跡もありません。



4 曙御白龍様(善巧院)

お寺の入口付近に、楠木から作られた本物にそっくりな蛇(白龍)が置かれ、一瞬ドキッとさせられます。ご本尊は、2mを超える大黒天・恵比須天であり、こちらも楠木で作られています。この楠木材は、弘法大師が熱田神宮で御祈願され、お手植えされた楠木のうちの1本です。ご利益のあるご神木として、人々の信仰を集めていましたが、昭和20年の暴風雨により倒れてしまいました。この倒木を活用して作られているのが、白龍や大黒天・恵比須天などです。他にもびっくりするような仏像があります。なお、このお寺は個人で始められたので、どの宗派にも属していません。



吹上公園・ハナミズキルート
飯田街道ルート
飯田街道



5 北山本町1の神様



北山本町1の交差点から数十mほど南に行った喫茶店の南側に神様がまつられています。以前は茶碗屋があり、その上に「屋根神様」としてまつられていました。昭和30年ごろ、家を壊すのを機に現在の場所に移されました。高さ1mぐらいの台座の上に安置されており、屋根神様だったことを思い浮かべることができます。伊勢神宮を中心に、熱田神宮・御器所八幡宮・秋葉神社・津島神社の五神をまつっています。

6 町内の氏神様



北山町・鶴羽町・小椋町・緑町には、それぞれ小さな神社があり、地域の守り神として人々の信仰を集めています。この神社は、すべて御器所八幡宮の分社であり、熱田神宮などと一緒にまつられています。小椋町と北山町の神社には、「国威宣揚」「紀元二千六百年」の碑があり、戦前の面影を感じることができます。紀元二千六百年とは、昭和15年のことで、神武天皇が即位してから2600年目ということです。

ショウちゃんめぐる



7 ハナミズキの並木道

桜花学園高等学校南側の東西に走る道は、両側にハナミズキが植えられた並木道になっています。ハナミズキは、平成元年に市制百周年の記念として区の木に制定されました。4月下旬から5月中旬にかけて、白や赤の花を咲かせます。



8 教西寺

浄土真宗本願寺派のお寺で、平成11年に新築する際、平城京・平安京の寺院を想像するように朱色に彩色された明るいイメージのお寺になりました。ご本尊の阿弥陀如来像の上にも天窓があり、阿弥陀様の光明を思わせます。もともとは昭和3年に岐阜県川島(現各務原市)の西養寺より分家し、御器所説教所として建立されました。ヨガやコーラスをはじめとする様々なイベントを実施していますが、とくに影絵劇が有名です。



ぶらり昭和区MAP
～広路・川原・吹上～



9 小坂の地藏堂

このお地藏さんには「左やごと道、右東海道・新四国道」と刻まれています。昔、この付近で目印になるものが何もないので、飯田街道から塩付街道への分かれ道を示すお地藏さんであったと思われます。今はご近所の方が祠の修繕などの日々のお世話をされています。

10 小さなお宮

このお宮さんは千種区今池の高牟神社の分社です。ここは昭和区ですが、高牟神社の氏子になり小坂の集落に分社として建てられたもので、いつからあるのかは不明です。高牟神社・伊勢神宮・熱田神宮・秋葉神社のお札を町内会長さんがおさめて、12月26日から1月5日には提灯を飾るそうです。



0 100 200 300 400 500m



11 川名山稱名寺

天保13年(1842)、真宗大谷派説教所として創建され、昭和21年(1946)に現寺号に改められました。本堂は昭和62年の再建で、ご本尊は阿弥陀如来です。昔、村人が疫病退散を願って、お寺の西門前に13体のお地藏さんを安置しました。そのなかで、住職の夢枕に立ち、境内に入ることを懇願されたと伝えられる1体が、いまでも本堂階段下の西側に安置されています。また、戦時中疎開をしなかった広路小学校的児童が、当寺で授業を受けたそうです。



12 川名観音 静心堂

ご本尊の十一面観世音菩薩は、徳川綱吉時代の作といわれ、明治維新後に仏堂毀釈の嵐が吹き荒れる中、120人ほどの信徒によって守られてきました。戦前は、胎毒にご利益がある観音様として信仰を集めていました。戦火を避けるため戦時中から、戦後にかけては天野家が保管していましたが個人宅に安置するものではないとして、平成2年に現在のお堂を建てました。現在十一面観世音菩薩像、十数体の仏像がまつられています。



13 川原神社

創建は不祥ですが延長5年(927)に定められた「延喜式神名帳」に記載される式内社で、飯田街道沿いにあり、祭神は日神、埴山姫神、罔象女命です。「尾張名所図会」には、川原天神とあり、描かれている池は今もあります。夏祭りは7月4日・5日、奉納提灯、赤丸神事、茅ノ輪ぐりがあります。また、秋祭りは10月16日・17日で餅投げが行われるため多くの参拝者が訪れます。



社殿は平成10年に再建されましたが、拝殿等の天井絵は、狩野派絵師であり、総代を務めた笙弘氏が2年2か月をかけて描き上げた、大変美しいものです。



14 馬頭観音

この観音さまは、当地で馬車による運送業をしておられた服部文五郎さんが、明治42年(1909)に同業者7～8人と共同でここに安置し、馬の健康と輸送の安全を祈願しました。光背には「川名組・馬連中」と刻字があります。



15 太平寺

開山の円堂長吉和尚(小牧福厳寺3世盛禅洞興和尚の弟子)が天文2年(1533)に亡くなっていることから、開創年は1533年よりも前と考えられます。開基は佐久間氏です。天正12年(1584)に小牧・長久手の戦いで焼失した等の記録が古文書に残っています。江戸時代には、日本地図を作った伊能忠敬が太平寺にて中食をとったという記録が測量日記に記されています。現在の本堂は昭和6年に建てられたもので墓地内には室町時代のもものと見られる五輪塔があります。神仏分離令により川原神社から川名弁天と大般若経600巻が太平寺に移されました。※開山…お寺をはじめた僧侶(初代住職) ※開創…お寺を創設すること



16 宮参り道の三体の石仏

昔、道の向かい側の「川名南城跡」に北向きにまつられており、この近くに熱田神宮への「宮参り道」が通っていました。奥のお地藏さんに「天明五乙巳四月廿四日」(天明5年(1785))・「左あつた道」と刻まれ、道案内の道標であったことがわかります。左側の如意輪観音さまには「西国坂東秩父百ヶ所」、右側の石仏には「四国八十八ヶ所」と刻まれていることから、弘法さまと考えられます。この道が拡張された昭和初めにここに移されました。



※地図の情報は、平成30年3月現在のものです